

受入先	南九州市茶業振興会
役職	
隊員氏名	窪 拓摩
着任日	令和3年2月1日

活動月	令和3年12月(着任0年11カ月目)
主な活動	1Li-Ka 1920クリスマスイベントにChiran Tea初参加 2外部企業との連携、ブランディングづくりの商談 3SNS強化での情報発信、地域を超えた情報交流への注力

1. Li-Ka 1920クリスマスイベントにChiran Tea初参加



写真: GOOD NEIGHBORS ILLUMINATE CHRISTMAS会場にて(so.i6000様撮影)

2021年最終月である12月、現在も長期化しているコロナ禍にはありますが、こんな時期だからこそつながることができた、様々な方々や企業との「茶縁」を強く感じた1年であったなと振り返るところです。

当月も、そんな「茶縁」からお声かけをいただきまして、本年できたばかりのLi-Ka 1920にて開催されました「GOOD NEIGHBORS ILLUMINATE CHRISTMAS」に参加致しました。

イベントでは、ご来場された感度の高いローカルの方々に、コンビニのドリップコーヒーのような手軽さで本格的なリーフの知覧茶をお楽しみいただくことができる「Leaf Tea Cup」や、ご家庭に急須がない方も安心の「ドリップ式知覧茶」をご案内するなど、新たな層への知覧茶ブランディングを実施しました。

また、お茶だけではなくお茶に合う焼き菓子を地元の人気古民家カフェにつくっていただき、クリスマス限定Chiran Teaペアリングセットとしてご案内し、多くの方にお楽しみいただきました。

これからの知覧茶ブランディングに欠かせないことは、「付加価値」であると私は強く感じております。具体的には、知覧茶を「安さ」や「量」といった軸で勝負するのではなく、「品質」や「ブランドイメージ」を軸に、購入された消費者が満足し、それに合う対価を茶農家の方々が得ることができるような仕組みを展開をしていくことです。



写真：イベント会場にて「知覧茶と焼き菓子」「知覧茶とプチ茶缶/ポスター」

今回のような、知覧茶をメインにしたイベントとは毛色が違う「クリスマスイベント×知覧茶」、「ワークショップ×知覧茶」のような知覧茶と〇〇の組み合わせを楽しんでいただくイベントでの発信を、今後も加速させていきたいと思っています。

私事ではございますが、気がつけば、あっという間に着任期間が1年を経過しようとしております。限られた任期の中で、「付加価値」の構築をすべく行動し実績を残して参りますので、引き続き宜しくお願い申し上げます。

2. 外部企業との連携、ブランディングづくりの商談



写真：鹿児島県霧島市にある「年輪堂」にて研修参加時の風景

当月下旬、顕娃女性部の役員研修に参加させていただき、鹿児島県霧島市にある年輪堂へ訪

問しました。近年注目をされている「単一品種(シングルオリジン)」でつくられた霧島茶数種類から一つを選び、お店で作られたお菓子とともに提供されるスタイルは、関西から移住を決断され、現在霧島市と県外での多拠点生活をされているオーナーご夫妻の「外からの感性」から生み出されたお店づくりであると感心した瞬間でありました。

ご参加された知覧茶生産者の方々の中には、意外にも単一品種でお茶を飲んだことがない方も多く、産地/品種/生産者ごとの作りの特徴を説明し提供できる発信拠点のような場所(飲食店や小売店など)が、有名茶産地である南九州市にも必要不可欠ではないかと考えているところです。

お茶の販売においても、現在のニーズに合った一袋50gの少量での提供をされており、先述の「付加価値」という視点で見習うべき点が非常に多くありました。

飲んで美味しい知覧茶はもちろんのこと、「魅せる」知覧茶はまだまだこれからが楽しみであると考えます。生産サイドも消費サイドもワクワクするような取組を進めていきます。

3. SNS強化での情報発信、地域を超えた情報交流への注力



写真: 新茶を再確認する求評会の風景

この一年、SNSを通じて主にお茶好きの方々への情報発信作業を継続してきましたが、一般消費者の他、ここ最近では全国のお茶産地の茶業関連の方々や団体から、オンライン発信についてのご質問/相談などDMを多くいただくようになってきました。

知覧茶に携わる茶業関係各所が抱えている課題は、全国の茶産地においても共有課題であるケースがほとんどで、直接対面し情報交換をすることは現状容易ではないですが、SNSを活用した取組の上で情報の送受信ができることは「茶産業」全体を盛り上げる動きとして良い流れであると感じております。

知覧にて、年末に茶業青年の方々が集まって開催された「求評会」の内容をSNSで発信したところ、幅広いフォロワーのユーザーから反応をいただき、着実に認知度や注目度が上がってきている手応えを感じています。



写真: 番所公園内のイベント「Agribits Farmers Market」の実施

また、年内最後となる番所鼻公園でのイベント「Agribits Farmers Market」を開催致しました。南九州市全体の課題とも言える、市外の方々が「長期滞在」をしていただくための環境づくりへのヒントが、当イベントから得ることができていると感じております。

現在は屋外の気温が低く、公園の利用率も夏季と比較した際落ち着いており、また野菜や果物、園芸をされている出店者も、限られた品種の提供となる為、当初想定していたよりも各種流動性が穏やかな状態です。

さらに、昨年10月以降県内各地で対面イベントが絶えず開催されており、少し参加者もイベント慣れしている状況にて、消費に対しシビアになってきているのではないかと感じています。

上記の課題解決に向けた早期対応を、各所と現在進めております。

以上、簡単ではございますが当月の報告と致します。